

## 第2回議会運営委員会会議記録

開閉会 日時	令和3年5月14日（金曜）      午前9時30分 開会		
	休 憩		
	午前10時32分 閉会		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏名	委員長 中村 和宏	委員 中田智恵子	
	副委員長 正村紀美子	委員 黒田 栄継	
	委員 鈴木 健充	委員 常通 直人	
	委員 渡辺洋一郎		議長 早苗 豊
欠席委員 氏名			
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦	

### 1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

### 2 議 件

#### (1) 調査事項

##### (1) 調査事項

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ア 議会広報編集企画会議について     | 資料1 |
| イ 議会改革諮問会議委員の選任について  | 資料2 |
| ウ 議会モニターアンケートの実施について | 資料3 |
| エ 町民との意見交換のあり方について   | 資料4 |
| オ 芽室町議会議員研修について      | 資料5 |
| カ 令和3年度の視察対応について     | 資料6 |
| キ 令和3年度議会活性化計画について   | 資料7 |
| ク 議会活動の評価について        | 資料8 |

### 3 その他

#### (1) 次回委員会の開催日程（予定）について

令和3年 月 日（ 曜） 時 分

#### (2) その他

### 2 議 件

#### (1) 調査事項

ア 議会広報編集企画会議について 資料 1

- ・総務係長：資料 1 説明。4 月 23 日の議会運営委員会で決定した要領改正に基づく新たな編集企画の機能に係る協議となる。
- ・委員長：今後の広報編集にあたっては、新たな要領（令和 3 年 4 月 23 日一部改正「芽室町議会広報編集発行要領」）に規定した「編集企画会議」が主体となって機能することがポイントだが、質疑・意見はあるか？  
（質疑・意見なし）
- ・委員長：編集企画会議に、議運及び両常任委員会からも 1 名ずつ構成員となるので、次回議運までに選出することで異議ないか。  
（質疑・意見なし）

イ 議会改革諮問会議委員の選任について 資料 2

- ・事務局長：資料 2 説明。議会だより 4 月号で公募の結果、応募のあった 5 人に決定したい。
- ・委員長：質疑はあるか？  
（質疑なし）
- ・常通委員：委員選任は了とする。別件となるが、諮問会議の進め方は、これまでと同様に会議の都度、議運にも並行した諮問（協議・情報共有）となるか？
- ・事務局長：お見込みのとおりである。

ウ 議会モニターアンケートの実施について 資料 3

- ・総務係長：資料 3 説明。
- ・委員長：質疑はあるか？
- ・黒田委員：問 16（会議手法の選択）は、アンケート結果を直接反映させる趣旨か？それとも検討要素とする趣旨か？
- ・常通委員：過去も同様の設問経過があるが、基本的にはアンケート結果を直接的に反映させる目的ではなく、参考要素とする目的が良いと考える。
- ・正村副委員長：アンケートの前段の記述として、「アンケート結果は、今後の事業実施の参考とする」旨を記載することで、この件に限定せずに趣旨が明確になるのではないか。なお、問 1 の「新庁舎」の限定は削除してはどうか。議会傍聴の有無を確認するのなら特に記載は不要である。
- ・渡辺委員：問 17（両委員会の調査対象事業検討結果に関する自由意見）は、すでに（両委員会で）まとめを完了し、新体制の委員会では新たに事業の抽出を検討している時期なので、この設問を設定するなら、今後に向けての希望や要望の趣旨にしてはどうか。
- ・鈴木委員：問 17 については、添付資料を見てモニターが純粋に感じたことを記載していただく趣旨と捉えるなら、原案のとおりで支障ないものと考えている。
- ・委員長：委員各位の意見を踏まえて、次回議運までにアンケート内容を決定することとしたい。別件となるが、（要綱に規定しているとおり）2 回目となる 6 月予定のモニター会議の開催手法についてご意見はないか？

- ・黒田委員：コロナによる流動要素はあるものの、前年同様にオンラインの手法で実施すべきと考える。
- ・鈴木委員：私も現状では、その手法しか想定できず、オンラインが基本と考える。
- ・委員長：ご意見を踏まえて、次回議運で決定する。

エ 町民との意見交換のあり方について 資料4

- ・事務局長：資料4説明。本日は、令和3年度の事業の具体計画の検討ではなく、コロナ対策を念頭に置いた今年度の事業実施に係る「基本的考え方」として、BCP（災害時対応基本計画）に規定するオンライン等の手法の是非について、協議いただきたい。
- ・委員長：質疑はあるか？
- ・渡辺委員：「基本的考え方」に基づき実施することで良いと考える。個別の事業の実施にあたっては、その都度、その時期に、具体的に先方と詳細を協議し、手法の検討をしていく取り進めが良い。
- ・鈴木委員：「基本的考え方」で良い。なお、今年は昨年よりコロナの感染状況は危機感が増しているため、事業実施の手法選択については慎重にかつ柔軟に検討して都度決めていくべきと考える。
- ・正村副委員長：「基本的考え方」を芽室町議会の確たる根拠として、取り進めることで是と考える。

オ 芽室町議会議員研修について 資料5

- ・事務局長：資料5説明。「エ」同様の趣旨である。
- ・委員長：質疑はあるか？
- ・常通委員：オンラインの手法を前提に全体スケジュールの整理をすべきと考える。
- ・委員長：ご意見を踏まえて今年度の全体計画の整理につなげていく。

カ 令和3年度の視察対応について 資料6

- ・事務局長：資料6説明。「エ」同様の趣旨である。
- ・委員長：質疑はあるか？
- ・常通委員：提案のBCPとおりで良い。
- ・黒田委員：基本的考え方に基づくことで可。
- ・正村副委員長：各委員同様に提案趣旨に異議ない。

キ 令和3年度議会活性化計画について 資料7

- ・総務係長：資料7説明。本日は、今件が今後の重要検討項目である旨、情報共有を目的とする協議である。
- ・委員長：質疑はあるか？
- ・渡辺委員：計画策定の目標時期は？
- ・正村副委員長：常任委員会の事業抽出に一定の時間を要することから、拙速にならないよう留意すべきと考える。時期は明言できないが、まずは委員会の抽出事業

にどのくらい時間を要するかの感触を見定めてから、決定してはと考える。

ク 議会活動の評価について **資料8**

- ・総務係長：資料8説明。報告事項の要素となる。当該事業については、かねてより包括的連携協定締結先の北大公共政策大学院と協議を進め、外部評価に向けた本町議会の考え方（趣旨や目的など）を、本日午後から北大の学生に向けてオンラインによりレクチャーをする。今後、進捗状況等について情報共有していく。
- ・委員長：質疑はあるか？  
(質疑なし)

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

- ・ 5月21日（金）午前9時30分を予定。

(2) その他

- ・ 事務局長 委員会室での大型モニター活用について協議したい。  
委員会等において、説明員（各課長等）が議案説明する際に、設置備品の大型モニターを活用したい。この目的は、手元の議案等を同時に一斉に見ながら説明することで、論点や議論が明確に共有できることである。なお、当面は、2つの条件として、①説明員からの申し出等により委員長が許可した場合、②事前配布の議案のみとすることとしたい。
- ・ 委員長：質疑はあるか？  
(質疑なし)

以上をもって議会運営委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和3年5月14日

議会運営委員会 委員長 中村和宏